

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、カラープランニングなどで基礎力を付け、現場に即した専攻授業で、実践力を育成。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	ビジュアルデザイン学科(グラフィックデザイン)	2年(昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	168単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1680単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人の内数	47人	1人	10人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏季：7月下旬から8月下旬まで ■冬季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単位習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単位習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納		
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡		課外活動	■課外活動の種類 コンペなどへ自主的参加 ■サークル活動：無		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 札幌大同印刷、木村エージン等 ■就職率： 100% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 95.5% ※2 (平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 7.4% 平成26年5月1日在学者 54名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 50名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.sdg.ac.jp/</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
(「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ビジュアルデザイン学科教育内容

- ① ベーシックデザイン、デッサン、カラープランニング、基礎CGは必修科目で、基礎力を育成
- ② 専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
- ③ 視覚伝達論やデザイン論で、幅広い教養科目
- ④ 就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ

上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
副会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

第1回 平成25年11月3日 10:00～11:30

第2回 平成26年2月7日 13:00～14:00

第3回 平成26年9月19日 10:00～11:30

第4回 平成27年2月26日 12:30～14:00

第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
グラフィックデザイン専攻	企画・制作を基本に、企画に対しての市場調査、更に販売戦略の考え方を実践し、これからの広告や新しい媒体を考え、デザインの在り方を学ぶ。	敦賀広告事務所 敦賀 富美男

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行く

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきしだ Studio BACU CGI チーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科グラフィックデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1 前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1 前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1 前期	68	4			○
○			デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポジションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1 前期	68	4			○
○			カラープランニング	道具の正しい使い方を演習を通じて習得し、平塗り、混色、イメージ配色へと発展させていく。	1 前期	68	4			○
○			CGI	イラストレーターやフォトショップのソフトを使用し、デザイナーに必要な基礎知識や技術を身につける。	1 前期	68	4			○
○			表現技法	画面に陰影や質感を感じる力を育む。実習を通してマチエールを作る技術や紙の加工技術、特性を身に付ける。	1 前期	34	2			○
	○		グラフィックデザイン専攻	印刷に関わる基礎から始まり、実際に印刷の工程までを実体験し、また広告の概念から制作を学習する。	1 前期	102	6			○
合計			8 科目		476 単位時間		28			

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科グラフィックデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1後期	16	1	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1後期	16	1	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1後期	16	1			○
○			デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポジションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1後期	64	4			○
○			カラープランニング	道具の正しい使い方を演習を通じて習得し、平塗り、混色、イメージ配色へと発展させていく。	1後期	48	3			○
○			C G I	イラストレーターやフォトショップのソフトを使用し、デザイナーに必要な基礎知識や技術を身につける。	1後期	64	4			○
○			表現技法	画面に陰影や質感を感じる力を育む。実習を通してマチエールを作る技術や紙の加工技術、特性を身に付ける。	1後期	32	2			○
	○		グラフィックデザイン専攻	印刷に関わる基礎から始まり、実際に印刷の工程までを実体験し、また広告の概念から制作を学習する。	1後期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1後期	64	4			○
合計						9	科目	448	単位時間	28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科グラフィックデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン論	日本のデザインの始まりから、過去、現在を交差しデザインの考え方、手法、こだわりなどを検証し、市場調査や販売戦略の事例や新しい考え方を紹介しながら、媒体の在り方を考えて行く。	2前期	34	2	○		
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○		
○			ビジュアルデザイン	視覚的表現の中で、思いをイラスト化したり、マーク化や数値を分かり易くグラフ化し、より分かり易い視覚化を学ぶ。	2前期	68	4			○
○			CG I	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			CG II	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			スキルアップ	表現技術や表現方法を反復し、作品をより良く見せるためのプレゼンテーションを学ぶ。	2前期	68	4			○
	○		グラフィックデザイン専攻	企画・制作を基本に、企画に対しての市場調査、更に販売戦略の考え方を実践し、これからの広告や新しい媒体を考え、デザインの在り方を学ぶ。	2前期	136	8			○
合計					7 科目	476	単位時間			28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科グラフィックデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業制作・企画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	64	4			○
○			卒業制作・制作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	6			○
○			卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	128	10			○
○			卒業制作・作品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2後期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2後期	32	2			○
合計			6 科目			448	単位時間	28		

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、カラープランニングなどで基礎力を付け、現場に即した専攻授業で、実践力を育成。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	ビジュアルデザイン学科(キャラクターデザイン)	2年(昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	168単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1680単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人の内数	19人	1人	11人	12人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単位習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単位習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納		
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡		課外活動	■課外活動の種類 コンペなどへ自主的参加 ■ サークル活動：無		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 ブライダル、パート・アルバイト 他</p> <p>■就職率：81.8% ※1</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 69.2% ※2</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 3名 ■中退率 13%</p> <p>平成26年5月1日在学者 23名 (平成26年4月入学者を含む)</p> <p>平成27年3月31日在学者 20名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.sdg.ac.jp/</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
 - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
 - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ビジュアルデザイン学科教育内容

- ① ベーシックデザイン、デッサン、カラープランニング、基礎CGは必修科目で、基礎力を育成
 - ② 専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
 - ③ 視覚伝達論やデザイン論で、幅広い教養科目
 - ④ 就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ
- 上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月3日 10:00～11:30
第2回 平成26年2月7日 13:00～14:00
第3回 平成26年9月19日 10:00～11:30
第4回 平成27年2月26日 12:30～14:00
第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
キャラクターデザイン専攻	材料の幅を知ることでキャラクター表現に最適な画材を知る。実習を通してモデリング技術と立体感覚を身に付ける。	敦賀広告事務所 敦賀 富美男

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行く

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGI チーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科キャラクターデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1前期	68	4			○
○			デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポジションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1前期	68	4			○
○			カラープランニング	道具の正しい使い方を演習を通じて習得し、平塗り、混色、イメージ配色へと発展させていく。	1前期	68	4			○
○			CGI	イラストレーターやフォトショップのソフトを使用し、デザイナーに必要な基礎知識や技術を身につける。	1前期	68	4			○
○			表現技法	画面に陰影や質感を感じる力を育む。実習を通してマチエールを作る技術や紙の加工技術、特性を身に付ける。	1前期	34	2			○
	○		キャラクターデザイン専攻	キャラクターデザインの基礎を学ぶ。企画力、分析力を身に付ける。	1前期	102	6			○
合計					8	科目	476	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科キャラクターデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1後期	16	1	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1後期	16	1	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1後期	16	1			○
○			デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポーションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1後期	64	4			○
○			カラープランニング	道具の正しい使い方を演習を通じて習得し、平塗り、混色、イメージ配色へと発展させていく。	1後期	48	3			○
○			CGI	イラストレーターやフォトショップのソフトを使用し、デザイナーに必要な基礎知識や技術を身につける。	1後期	64	4			○
○			表現技法	画面に陰影や質感を感じる力を育む。実習を通してマチエールを作る技術や紙の加工技術、特性を身に付ける。	1後期	32	2			○
	○		キャラクターデザイン専攻	キャラクターデザインの基礎から応用へ、そして、トータルデザインを学ぶ。	1後期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1後期	64	4			○
合計					9	科目	448	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科キャラクターデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン論	日本のデザインの始まりから、過去、現在を交差しデザインの考え方、手法、こだわりなどを検証し、市場調査や販売戦略の事例や新しい考え方を紹介しながら、媒体の在り方を考えて行く。	2前期	34	2	○		
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○		
○			ビジュアルデザイン	視覚的表現の中で、思いをイラスト化したり、マーク化や数値を分かり易くグラフ化し、より分かり易い視覚化を学ぶ。	2前期	68	4			○
○			CG I	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			CG II	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			スキルアップ	表現技術や表現方法を反復し、作品をより良く見せるためのプレゼンテーションを学ぶ。	2前期	68	4			○
	○		キャラクターデザイン専攻	材料の幅を知ることでキャラクター表現に最適な画材を知る。実習を通してモデリング技術と立体感覚を身に付ける。	2前期	136	8			○
合計										
			7	科目		476	単位時間			28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科キャラクターデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業制作・企画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	64	4			○
○			卒業制作・制作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	6			○
○			卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	128	10			○
○			卒業制作・作品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2後期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2後期	32	2			○
合計			6 科目		448 単位時間		28			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、カラープランニングなどで基礎力を付け、現場に即した専攻授業で、実践力を育成。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	ビジュアルデザイン学科 (イラストレーション)	2年 (昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	168単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1680単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人の内数	53人	2人	10人	12人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単位習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単位習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納		
生徒指導	■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡		課外活動	■課外活動の種類 コンペなどへ自主的参加 ■ サークル活動：無		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 シンプルスタイル、三景スタジオ他 ■就職率：76.9% ※1</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 43.5% ※2</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 56名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 56名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.sdg.ac.jp/</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
 - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
 - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ビジュアルデザイン学科教育内容

- ①ベーシックデザイン、デッサン、カラープランニング、基礎CGは必修科目で、基礎力を育成
 - ②専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
 - ③視覚伝達論やデザイン論で、幅広い教養科目
 - ④就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ
- 上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月3日 10:00～11:30
第2回 平成26年2月7日 13:00～14:00
第3回 平成26年9月19日 10:00～11:30
第4回 平成27年2月26日 12:30～14:00
第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	(株)ペイントモンスター
デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポーションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	フリーアーティスト 藤田 真理

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行ゆく

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGI チーフディレクター
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科イラストレーション専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1前期	68	4			○
○			デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポジションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1前期	68	4			○
○			カラープランニング	道具の正しい使い方を演習を通じて習得し、平塗り、混色、イメージ配色へと発展させていく。	1前期	68	4			○
○			CGI	イラストレーターやフォトショップのソフトを使用し、デザイナーに必要な基礎知識や技術を身につける。	1前期	68	4			○
○			表現技法	画面に陰影や質感を感じる力を育む。実習を通してマチエールを作る技術や紙の加工技術、特性を身に付ける。	1前期	34	2			○
	○		イラストレーション専攻	前期は技法の習得に重点を置くが、強調と省略によって特徴を引き出すこと。そしてフォトリアリズムイラストを描ききること。	1前期	102	6			○
合計					8	科目	476	単位時間		28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科イラストレーション専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1後期	16	1	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1後期	16	1	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1後期	16	1			○
○			デッサン	デッサンの基礎の習得から構図やプロポーションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1後期	64	4			○
○			カラープランニング	道具の正しい使い方を演習を通じて習得し、平塗り、混色、イメージ配色へと発展させていく。	1後期	48	3			○
○			CGI	イラストレーターやフォトショップのソフトを使用し、デザイナーに必要な基礎知識や技術を身につける。	1後期	64	4			○
○			表現技法	画面に陰影や質感を感じる力を育む。実習を通してマチエールを作る技術や紙の加工技術、特性を身に付ける。	1後期	32	2			○
	○		イラストレーション専攻	リアルイラストレーションから大型イラストレーションへの展開。	1後期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1後期	64	4			○
合計					9	科目	448	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科イラストレーション専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン論	日本のデザインの始まりから、過去、現在を交差しデザインの考え方、手法、こだわりなどを検証し、市場調査や販売戦略の事例や新しい考え方を紹介しながら、媒体の在り方を考えて行く。	2前期	34	2	○		
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○		
○			ビジュアルデザイン	視覚的表現の中で、思いをイラスト化したり、マーク化や数値を分かり易くグラフ化し、より分かり易い視覚化を学ぶ。	2前期	68	4			○
○			CG I	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			CG II	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			スキルアップ	表現技術や表現方法を反復し、作品をより良く見せるためのプレゼンテーションを学ぶ。	2前期	68	4			○
	○		イラストレーション専攻	クロッキーを習慣化することにより、今後分科するゲーム系、アニメ系、デザイン系、アート系進路への絵柄強化を図る。より応用的な材料に触れ、自分の表現の幅を広げる。	2前期	136	8			○
合計										
				7 科目		476	単位時間			28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ビジュアルデザイン学科イラストレーション専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業制作・企画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	64	4			○
○			卒業制作・制作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	6			○
○			卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	128	10			○
○			卒業制作・作品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2後期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2後期	32	2			○
合計			6 科目			448	単位時間			28

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、ソーイング、パターンなどで基礎力を付け、現場に即した専攻授業で、実践力を育成。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	ファッション・ビューティー学科 (ファッションデザイン)	2年 (昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	168単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1680単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人の内数	21人	2人	8人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単位習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単位習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納		
生徒指導	■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡		課外活動	■課外活動の種類 コンペなどへ自主的参加 ■ サークル活動：無		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 サンサバサ、クロスパニー、他 ■就職率： 80% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 66.7% ※2 (平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者0名 ■中退率 0% 平成26年5月1日在学者 18名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 18名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.hag.ac.jp/hag/?page_id=67</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
(「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ファッションビューティー学科教育内容

- ①ベーシックデザイン、デッサン、ファッション造形、基礎CGは必修科目で、基礎力を育成
 - ②専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
 - ③視覚伝達論やファッション論で、幅広い教養科目
 - ④就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ
- 上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月3日 15:00～16:30
第2回 平成26年2月7日 15:00～16:00
第3回 平成26年9月19日 10:00～11:30
第4回 平成27年2月26日 12:30～14:00
第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションイラスト	デッサンを通じた作品完成予想の視覚伝達方法の学習する。	フリーデザイナー 安楽 恵子
ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	フリーデザイナー 安楽 恵子

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行く

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGI チーフデザイナー
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1前期	34	2			○
○			ファッションイラスト	デッサンを通じた作品完成予想の視覚伝達方法の学習する。	1前期	34	2			○
○			ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	1前期	68	4			○
○			ファッションビューティーⅠ	ファッションやTPOに合わせたメイクアップ基礎とファッションイベント等に対応出来る美容テクニックを学習する。	1前期	34	2			○
○			ファッションビューティーⅡ	ファッションビジネスを理解し、デザインの考え方や発想方法を学ぶ。	1前期	34	2			○
○			CG	コンピューターの基礎から、イラストレーター・フォトショップを中心に、技術・表現方法を学ぶ。	1前期	34	2			○
○			プレゼンテーション	作品や技術をより良く見せるためのパソコン加工によりプレゼンテクニックを学ぶ。	1前期	34	2			○
	○		ファッションデザイン専攻	ファッションデザインの考え方を理解し、1つのブランドを構築する方法を学ぶ。	1前期	136	8			○
合計					10	科目	476	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1後期	16	1	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1後期	16	1	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1後期	16	1			○
○			ファッションイラスト	デッサンを通じた作品完成予想の視覚伝達方法の学習する。	1後期	16	1			○
○			ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	1後期	64	4			○
○			ファッションビューティーI	ファッションやTPOに合わせたメイクアップ基礎とファッションイベント等に対応出来る美容テクニックを学習する。	1後期	32	2			○
○			ファッションビューティーII	ファッションビジネスを理解し、デザインの考え方や発想方法を学ぶ。	1後期	32	2			○
○			CG	コンピューターの基礎から、イラストレーター・フォトショップを中心に、技術・表現方法を学ぶ。	1後期	32	2			○
○			プレゼンテーション	作品や技術をより良く見せるためのパソコン加工によりプレゼンテクニックを学ぶ。	1後期	32	2			○
	○		ファッションデザイン専攻	ファッションデザインの考え方を理解し、1つのブランドを構築する方法を学ぶ。	1後期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1後期	64	4			○
合計					11	科目	448	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン論	繊維の基礎知識を学び、デザインとの関わりを学ぶ。	2前期	34	2	○		
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○		
○			ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	2前期	68	4			○
○			ファッションビューティーI	日常スキンケアやメイクアップ基礎のレッスン。就職用のメイクアップやファッションショー対応のバリエーションを学び、トータルコーディネート意識した作品制作に汗かす。	2前期	68	4			○
○			CG	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○
○			プレゼンテーション	表現技術や表現方法を反復し、作品をより良く見せるためのプレゼンテーションを学ぶ。	2前期	68	4			○
	○		ファッションデザイン専攻	流行を分析し、適正価格、素材、カラーなどの選定方法を学ぶ。	2前期	136	8			○
合計										
					7	科目	476	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			卒業制作・企 画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2 後 期	64	4			○
○			卒業制作・制 作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2 後 期	96	6			○
○			卒業制作・演 習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2 後 期	128	10			○
○			卒業制作・作 品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2 後 期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2 後 期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2 後 期	32	2			○
合計			6 科目			448	単位時間	28		

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、ソーイング、パターンなどで基礎力を付け、現場に即した専攻授業で、実践力を育成。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	ファッション・ビューティー学科 (ファッションアドバイザー)	2年 (昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	168単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1680単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人の内数	17人	2人	8人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単位習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単位習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納		
生徒指導	■クラス担任制 (有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡		課外活動	■課外活動の種類 コンパなどへ自主的参加 ■ サークル活動：無		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 ギャップジャパン、加スカパニ 他</p> <p>■就職率： 100% ※1</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 88.9% ※2</p> <p>(平成25年度卒業者に関する 平成26年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者3名 ■中退率 14.3%</p> <p>平成26年5月1日在学者 21名 (平成26年4月入学者を含む)</p> <p>平成27年3月31日在学者 18名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.sdg.ac.jp/</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
 - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
 - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

ファッションビューティー学科教育内容

- ①ベーシックデザイン、デッサン、ファッション造形、基礎CGは必修科目で、基礎力を育成
 - ②専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
 - ③視覚伝達論やファッション論で、幅広い教養科目
 - ④就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ
- 上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月3日 15:00～16:30
- 第2回 平成26年2月7日 15:00～16:00
- 第3回 平成26年9月19日 10:00～11:30
- 第4回 平成27年2月26日 12:30～14:00
- 第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ファッションアドバイザー専攻	ショップ運営に必要な知識・技術を高め、実践的シュミレーションやショップ企画の作品を制作し学ぶ。	禅(株) プロデューサー 工藤 敦司

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行く

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきだ Studio BACU CGI 3Dデザイナー
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションアドバイザー) 平成27年度							授業方法			
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技
必修	選択必修	自由選択								
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1前期	34	2			○
○			ファッションイラスト	デッサンを通じた作品完成予想の視覚伝達方法の学習する。	1前期	34	2			○
○			ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	1前期	68	4			○
○			ファッションビューティーI	ファッションやTPOに合わせたメイクアップ基礎とファッションイベント等に対応出来る美容テクニックを学習する。	1前期	34	2			○
○			ファッションビューティーII	ファッションビジネスを理解し、デザインの考え方や発想方法を学ぶ。	1前期	34	2			○
○			CG	コンピューターの基礎から、イラストレーター・フォトショップを中心に、技術・表現方法を学ぶ。	1前期	34	2			○
○			プレゼンテーション	作品や技術をより良く見せるためのパソコン加工によりプレゼンテクニックを学ぶ。	1前期	34	2			○
	○		ファッションアドバイザー専攻	ショップで働く為の知識や接客方法を学び、ショップを演出・運営できる総合的なものを習得。	1前期	136	8			○
合計					10	科目	476	単位時間	28	

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションアドバイザー) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1 後 期	16	1	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1 後 期	16	1	○		
○			ベーシックデザイン	デザインに必要な平面・空間構成の方法論を学び、あらゆるデザインワークに対応できるように基礎を学習する。	1 後 期	16	1			○
○			ファッションイラスト	デッサンを通じた作品完成予想の視覚伝達方法の学習する。	1 後 期	16	1			○
○			ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	1 後 期	64	4			○
○			ファッションビューティーI	ファッションやTPOに合わせたメイクアップ基礎とファッションイベント等に対応出来る美容テクニックを学習する。	1 後 期	32	2			○
○			ファッションビューティーII	ファッションビジネスを理解し、デザインの考え方や発想方法を学ぶ。	1 後 期	32	2			○
○			CG	コンピューターの基礎から、イラストレーター・フォトショップを中心に、技術・表現方法を学ぶ。	1 後 期	32	2			○
○			プレゼンテーション	作品や技術をより良く見せるためのパソコン加工によりプレゼンテクニックを学ぶ。	1 後 期	32	2			○
	○		ファッションアドバイザー専攻	接客の応用から、企画そして、プレゼンテーションのテクニックなどを学ぶ。	1 後 期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1 後 期	64	4			○
合計					11 科目	448 単位時間	28			

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションアドバイザー) 平成27年度											
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	
○			デザイン論	繊維の基礎知識を学び、デザインとの関わりを学ぶ。	2前期	34	2	○			
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○			
○			ファッション造形	ファッショングッズ制作を通じて、ファッションショーや作品発表に於ける様々な表現ツールを制作。	2前期	68	4			○	
○			ファッションビューティーI	日常スキンケアやメイクアップ基礎のレッスン。就職用のメイクアップやファッションショー対応のバリエーションを学び、トータルコーディネート意識した作品制作に活かす。	2前期	68	4			○	
○			CG	実践作業を中心にデザイナーとしての、より高いスキルと意識を身につける。イラストレーターやフォトショップの復習・応用。	2前期	68	4			○	
○			プレゼンテーション	表現技術や表現方法を反復し、作品をより良く見せるためのプレゼンテーションを学ぶ。	2前期	68	4			○	
	○		ファッションアドバイザー専攻	ショップ運営に必要な知識・技術を高め、実践的シミュレーションやショップ企画の作品を制作し学ぶ。	2前期	136	8			○	
合計							7	科目	476	単位時間	28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 ファッション ビューティー学科ファッションアドバイザー) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業制作・企画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	64	4			○
○			卒業制作・制作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	6			○
○			卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	128	10			○
○			卒業制作・作品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2後期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2後期	32	2			○
合計			6 科目			448	単位時間	28		

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、ドローイングなどで基礎力を付け、現場に即した専攻的授業で、実践力を育成					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	インテリア学科 (インテリアデザイン)	2年(昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学 省告示第八十四号	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		234単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1614単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数		13人	1人	9人	10人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで			卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納	
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡			課外活動	■課外活動の種類 コンペなどへ自主的参加 ■ サークル活動：無	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 デザインセンター、ヤマキ芸社、他</p> <p>■就職率： 100% ※1</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 77.8% ※2</p> <p>(平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成26年5月1日在学者 14名 (平成26年4月入学者を含む)</p> <p>平成27年3月31日在学者 14名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更</p> <p>■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.sdg.ac.jp/</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
 - ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
 - ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- （「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

インテリア学科教育内容

- ①ベーシックデザイン、デッサン、ドローイング、基礎CADは必修科目で、基礎力を育成
 - ②専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
 - ③視覚伝達論やインテリア学で、幅広い教養科目
 - ④就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ
- 上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月3日 13:20～14:50
第2回 平成26年2月7日 14:00～15:00
第3回 平成26年9月19日 10:00～11:30
第4回 平成27年2月26日 12:30～14:00
第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インテリアデザイン 専攻	専用住宅の単位空間を中心に機能的な寸法や計画の方法など住宅を計画する上での基礎知識を習得する	米川建築設計事務所 主宰 米川 雅喜

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行く

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社きしだ Studio BACU CGI 3Dデザイナー
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1前期	34	2	○		
○			インテリア学Ⅰ	インテリアに関する商品・材料の基本的な知識と商品知識。そして、機能と空間の関わり方など基礎事項を項目ごとに学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	造形の基本となる形態、造形美の原理などデザインの基本的理論・定理を建築やインテリアに照らし合わせ学び、演習を通して理解すると共にイメージ・発想力を強化し、デザインの基礎的力、美的感性を鍛える。	1前期	34	2			○
○			インテリアスケッチ	デッサンの基礎の習得から構図やプロポーションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1前期	34	2			○
○			CADⅠ	建築CADソフトを使用し、設計製図を行う。CADの操作技術・表現技法を確実なものとし、即戦力を養う。	1前期	68	4			○
○			リビングコミュニケーション	リビングスタイリストとして、インテリアをはじめとする住生活商品を買求める消費者に商品の魅力を説明出来、適切な提案を行うことができるスキルを学ぶ。	1前期	34	2			○
○			ドローイング	立体を平面で説明するための製図、及び1点透視図法の技法を手書きを中心に3次元で物を考える訓練をし学習する。	1前期	68	4			○
	○		インテリアデザイン専攻	専用住宅の単位空間を中心に機能的な寸法や計画の方法など住宅を計画する上での基礎知識を習得する。	1前期	136	8			○
合計						9	科目	476	単位時間	28

(別紙様式 4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1後期	16	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1後期	16	2	○		
○			インテリア学Ⅰ	インテリアに関する商品・材料の基本的な知識と商品知識。そして、機能と空間の関わり方など基礎事項を項目ごとに学ぶ。	1後期	32	2	○		
○			ベーシックデザイン	造形の基本となる形態、造形美の原理などデザインの基本的理論・定理を建築やインテリアに照らし合わせ学び、演習を通して理解すると共にイメージ・発想力を強化し、デザインの基礎的力、美的感性を鍛える。	1後期	16	2			○
○			インテリアスケッチ	デッサンの基礎の習得から構図やプロポーションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1後期	16	2			○
○			CADⅠ	建築CADソフトを使用し、設計製図を行う。CADの操作技術・表現技法を確実なものとし、即戦力を養う。	1後期	64	4			○
○			カラスキム	各分野に広く活用できる「理論に裏付けられた色彩の基本」を学ぶ。	1後期	32	2			○
○			ドローイング	立体を平面で説明するための製図、及び1点透視図法の技法を手書きを中心に3次元で物を考える訓練をし学習する。	1後期	64	4			○
	○		インテリアデザイン専攻	専用住宅の単位空間を中心に機能的な寸法や計画の方法など住宅を計画する上での基礎知識を習得する。	1後期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1後期	64				○
合計						448	単位時間	28		

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			インテリア学Ⅱ	インテリアに関する商品・材料の基本的な知識と商品知識。そして、機能と空間の関わり方など基礎事項を項目ごとに学ぶ。	2前期	34	2	○		
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○		
○			CADⅡ	ベクターワークスのソフトを使用し、RC増の設計図面の作図を通して即戦力としての能力を身につける。	2前期	68	4			○
○			表現技法	インテリア業界で必要とされている、イラストレーター・フォトショップの基礎から応用を学び、プレゼンテーションに役立てる。	2前期	68	4			○
○			モデリング	主にスチレンボードを使用しての模型制作。基礎的な道具の使用法や素材についての知識、制作の技術を学ぶ。	2前期	68	4			○
○			インテリア・プランニング	インテリアイメージを把握することで調和の取れた空間を創造する力をつける。	2前期	34	2			○
○			空間計画	材料と構造からよりイメージ力を高め、模型や図面に反映させる。	2前期	34	2			○
	○		インテリアデザイン専攻	図面での表現を基本としながら、模型やパース表現でのプレゼンテーション手法や構成、表現力を養う。	2前期	136	8			○
合計					8	科目	476	単位時間		28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアデザイン専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業制作・企画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	64	4			○
○			卒業制作・制作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	6			○
○			卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	128	10			○
○			卒業制作・作品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2後期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2後期	32	2			○
合計			6 科目			448	単位時間	28		

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校札幌デザイン学院	平成1年12月28日	本間 剛宏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-272-2800			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 北海道安達学園 理事長 安達 保敏	平成1年11月28日	安達 保敏	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9丁目3-12 (電話) 011-205-7600			
目 的	ベーシックデザインから始まり、デッサン、ドローイングなどで基礎力を付け、現場に即した専攻的授業で、実践力を育成					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化 教養	専門	インテリア学科 (インテリアデザイナー)	2年(昼)	1,848単位時間 (又は単位)	平成6年文部科学 省告示第八十四号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	234単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1614単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人の内数	14人	1人	9人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表(有) ■成績評価の基準・方法について A B C D E (E=未習得)		
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月下旬から8月下旬まで ■冬 季：12月下旬から1月下旬まで ■学年末：2月下旬から4月初旬まで		卒業・進級条件	進級：出席率90%以上 単習得85%以上 進級制作審査合格 卒業：出席率90%以上 単習得85%以上 卒業制作審査合格 学費の完納		
生徒指導	■クラス担任制(有) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡		課外活動	■課外活動の種類 コンペなどへ自主的参加 ■ サークル活動：無		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 横浜工務店、札幌 他 ■就職率：100% ※1 ■卒業者に占める就職者の割合 66.7% ※2 (平成26年度卒業者に関する 平成27年4月1日時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>ビジネス能力検定、リビングスタイル検定、カラーコーディネーター検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0% 平成26年5月1日在学者 9名 (平成26年4月入学者を含む) 平成27年3月31日在学者 9名 (平成27年3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止のための取組 保護者との連絡</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.sdg.ac.jp/</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
(「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

インテリア学科教育内容

- ①ベーシックデザイン、デッサン、ドローイング、基礎CADは必修科目で、基礎力を育成
 - ②専攻授業で即戦力を養成するカリキュラム
 - ③視覚伝達論やインテリア学で、幅広い教養科目
 - ④就職に向け、ソーシャルコミュニケーションや就職対策でビジネス能力検定やマナー、面接などを学ぶ
- 上記の教育内容を企業等との連携により、必要となる最新の知識・技術・技能等を反映するため、企業等の意見を十分に活かし改善等計って行く。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
副会長 菅原 耕治	北海道デザイン協議会
取締役 石黒 由紀夫	石黒工作所(有)
学校長 本間 剛宏	専門学校札幌デザイナー学院
副校長 大和田 学	専門学校札幌デザイナー学院
学科長代理 菅原英二	専門学校札幌デザイナー学院

(開催日時)

- 第1回 平成25年11月3日 13:20~14:50
第2回 平成26年2月7日 14:00~15:00
第3回 平成26年9月19日 10:00~11:30
第4回 平成27年2月26日 12:30~14:00
第5回 平成27年10月開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

課題制作・打ち合わせ・発表を通し実作業の経験を繰り返し習得させる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
インテリアコーディネーター専攻	インテリアの各エレメントを適切に選択し、効果的にインテリアに生かすことと、マンションや戸建住宅のリフォームから使いやすさなどを提案していく。	(株)アトリエ樹 取締役 金山 美保子

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

連携企業の担当者とともに、関連団体のイベントや関連企業への現場訪問を通して、業界の情報収集や情報共有などで教員の資質の向上を図って行く

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在

名 前	所 属
菅原 耕治	北海道デザイン協議会 会長
松倉 大樹	株式会社さきだ Studio BACU CGI 3Dデザイナー
原 大介	ユアンワークス 代表
本間 裕也	北海道犬ぞり連盟 事務局長 (札幌スクールオブビジネス卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2013/11/P2014SDG_20150226.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.hag.ac.jp/hag/wp-content/uploads/2014/06/SDG_02s.pdf

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアコーディネーター専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1前期	34	2	○		
○			インテリア学Ⅰ	インテリアに関する商品・材料の基本的な知識と商品知識。そして、機能と空間の関わり方など基礎事項を項目ごとに学ぶ。	1前期	34	2	○		
○			ベーシックデザイン	造形の基本となる形態、造形美の原理などデザインの基本的理論・定理を建築やインテリアに照らし合わせ学び、演習を通して理解すると共にイメージ・発想力を強化し、デザインの基礎的力、美的感性を鍛える。	1前期	34	2			○
○			インテリアスケッチ	デッサンの基礎の習得から構図やプロポーションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1前期	34	2			○
○			CADⅠ	建築CADソフトを使用し、設計製図を行う。CADの操作技術・表現技法を確実なものとし、即戦力を養う。	1前期	68	4			○
○			リビングコミュニケーション	リビングスタイリストとして、インテリアをはじめとする住生活商品を買求める消費者に商品の魅力を説明出来、適切な提案を行うことができるスキルを学ぶ。	1前期	34	2			○
○			ドローイング	立体を平面で説明するための製図、及び1点透視図法の技法を手書きを中心に3次元で物を考える訓練をし学習する。	1前期	68	4			○
	○		インテリアコーディネーター専攻	専用住宅の単位空間を中心に機能的な寸法や計画の方法など住宅を計画する上での基礎知識を習得する。	1前期	136	8			○
合計						9	科目	476	単位時間	28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアコーディネーター専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			視覚伝達論	バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの有り方の違いなど、ビジュアルを主とするコミュニケーションの方法論を学ぶ。	1後期	16	2	○		
○			ソーシャル・コミュニケーション	社会人としての基本的なマナーやビジネス文書を学習。ビジネス能力検定のための学習も行う。	1後期	16	2	○		
○			インテリア学Ⅰ	インテリアに関する商品・材料の基本的な知識と商品知識。そして、機能と空間の関わり方など基礎事項を項目ごとに学ぶ。	1後期	32	2	○		
○			ベーシックデザイン	造形の基本となる形態、造形美の原理などデザインの基本的理論・定理を建築やインテリアに照らし合わせ学び、演習を通して理解すると共にイメージ・発想力を強化し、デザインの基礎的力、美的感性を鍛える。	1後期	16	2			○
○			インテリアスケッチ	デッサンの基礎の習得から構図やプロポジションなど、物の見方・影の捉え方について学ぶ。	1後期	16	2			○
○			CADⅠ	建築CADソフトを使用し、設計製図を行う。CADの操作技術・表現技法を確実なものとし、即戦力を養う。	1後期	64	4			○
○			カラースキム	各分野に広く活用できる「理論に裏付けられた色彩の基本」を学ぶ。	1後期	32	2			○
○			ドローイング	立体を平面で説明するための製図、及び1点透視図法の技法を手書きを中心に3次元で物を考える訓練をし学習する。	1後期	64	4			○
	○		インテリアコーディネーター専攻	店舗デザインの基本となる商業空間の機能や役割を学び、商業施設デザイン課題制作を通して、プランニングをまとめる力を養う。	1後期	128	8			○
○			進級制作	1年次授業の集大成としての作品制作。	1後期	64				○
合計						10	科目	448	単位時間	28

(別紙様式 4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアコーディネーター専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			インテリア学Ⅱ	インテリアに関する商品・材料の基本的な知識と商品知識。そして、機能と空間の関わり方など基礎事項を項目ごとに学ぶ。	2前期	34	2	○		
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2前期	34	2	○		
○			CADⅡ	ベクターワークスのソフトを使用し、RC増の設計図面の作図を通して即戦力としての能力を身につける。	2前期	68	4			○
○			表現技法	インテリア業界で必要とされている、イラストレーター・フォトショップの基礎から応用を学び、プレゼンテーションに役立てる。	2前期	68	4			○
○			モデリング	主にスチレンボードを使用しての模型制作。基礎的な道具の使用方法や素材についての知識、制作の技術を学ぶ。	2前期	68	4			○
○			インテリア・プランニング	インテリアイメージを把握することで調和の取れた空間を創造する力をつける。	2前期	34	2			○
○			空間計画	材料と構造からよりイメージ力を高め、模型や図面に反映させる。	2前期	34	2			○
	○		インテリアコーディネーター専攻	インテリアの各エレメントを適切に選択し、効果的にインテリアに生かすことと、マンションや戸建住宅のリフォームから使いやすさなどを提案していく。	2前期	136	8			○
合計					8	科目	476	単位時間		28

(別紙様式4)

授業科目等の概要

(文化教養専門課程 インテリア学科インテリアコーディネーター専攻) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			卒業制作・企画	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	64	4			○
○			卒業制作・制作	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	6			○
○			卒業制作・演習	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	128	10			○
○			卒業制作・作品	2年間の集大成として、学科・専攻で学んだ知識・技術を活かし制作。1次審査と最終審査を経て卒業制作展で展示を行う。	2後期	96	4			○
○			就職対策	実践に即して、企業訪問、面接試験、就職用ポートフォリオ作成の指導を行う。	2後期	32	2			○
○			スキルアップ	卒業制作の作品作りだけではなく、就職用のポートフォリオを充実させ、何時でも就職活動出来るよに作品制作。	2後期	32	2			○
合計			6 科目		448 単位時間		28			